

### 住みよい地域づくり

住みよい地域づくりは、道路交通網の整備をはじめ、高齢者が安心して暮らせる街、障害者に優しい施設、病気の早期発見のための健診事業の充実、自然環境の保護と生活環境の向上、災害に強い街、など分野が多岐にわたります。

これまでに、市内道路網の整備、三県架橋の実現の推進、高齢者が安心して暮らせる連絡通報システム、病気の予防・早期発見のための健診事業、快適な生活環境を作るための下水道整備、指定避難場所や災害危険個所などを記載した防災マップの作成、地域内リサイクルの推進、NPOの窓口設置、などは既に取り組んでおりますが、今後はさらに充実してまいります。

#### ◎道路整備事業

道路網の整備は、地理的条件に恵まれない半島地域の中で、とりわけ奥に位置する南島原市にあつては、地域の振興・活性化はもとより、災害時における避難・救助など市民生活の安全を図る上からも重要な機能を持つものであります。

その中でも地域高規格道路は、全国的な高速道路と一体となつ

そこで、集中改革プランにもお示ししておりますように、特に世帯数の少ない自治会につきましては、近隣自治会との統合を段階的に進め、その機能を十分活用できる体制を整え、活発な自治会の活動を支援してまいります。

また、活力ある南島原市づくりを進めるためには、地域の振興は大変重要なものであり、これまで各町で取り組んでいたイベントも大きな役割を担ってまいりました。18年度までは継続して開催してまいりましたが、イベントの数も多く類似するものがあり、事業費も多額であったことから、19年度は統廃合を図り、南島原らしい特色あるものとなるよう支援してまいります。統廃合につきましては、地域の均衡に配慮し、新しい故郷づくりを進めてまいります。



市の花「ひまわり」につきましては、国道沿線や公園、施設

て道路ネットワークを形成し、物資の流通機能、人的交流促進機能など、通勤圏の拡大や都市と農村の連携強化において、その効果は計り知れないものがあり、一刻も早い整備が待たれるところでもあります。現在までの進捗状況は、島原中央道路が全長12kmの内、未完成区間4・5kmの用地買収が進められ、現在40%の進捗率であります。

また、国道57号線森山拡幅に続く森山・愛野間は事業着手に向け、測量や地質調査が行われております。私は就任以来一貫して、機会あるごとに国・県・地元選出国會議員に、地域高規格道路の早期整備についてお願いしてまいりましたが、今後も近隣市と連携を取りながら一緒に頑張って早期実現に向けて努力してまいります。



等の空きスペースに植えつけを行い、南島原市の花としてPRと定着化を図ってまいります。また、市の木「あこう」につきましては、19年度から苗木づくりを行い、植栽計画を立て南島原市の木として、計画的に植樹してまいりたいと考えております。

NPOの活動や地域ボランティアが主体となる活動を支援することは、市民参画のまちづくりを推進する上で大変重要であることから、積極的に支援してまいります。

#### ◎姉妹都市交流事業

鹿児島県与論町と香川県小豆島町の2町との間で、旧町からの交流を引き継ぎ、姉妹都市交流を行っております。

昨年12月には、口之津町において与論町の「かりゆしバンド」を招いてコンサートが開催されるなど、市民主導で大変有意義な交流が行われました。また、本年1月には、議会の広報委員会が与論町に研修に向かれ、温かい歓迎を受けられたと聞いております。小豆島町については、本年2月17日に行われた「合併記念式典」にご案内をいただき、助役が出席をいたしました。また、一昨日に開催いたしました「原城マラソン大会」には、

#### ◎福祉・保健・衛生関係事業

障害者福祉対策といたしましては、障害者自立支援法の趣旨にのっとり、ハンディのある人が地域で安心して暮らせる社会の実現に努力いたします。また、コミュニケーション支援事業として「手話通訳者設置事業」は昨年に引き続き実施してまいります。



高齢者福祉対策といたしましては、介護予防に重点を置いて介護保険法の改正の趣旨に基づき、「機能回復訓練」や「栄養改善」などの事業を展開したいと考えております。これにより介護サービスはもとより高齢者が地域において安心して生活できる支援体制の強化が図られるものと思っております。

また、グループホームの消防設備に關しましては、県の補助事業の期限である19年度まで引き続き実施してまいります。

小豆島町長自ら7人の参加者を引率していただきまして、友好関係をあらためて確認した次第です。19年度に両町を訪問する機会を設け、共通の認識を持って、今後の相互交流を進めてまいりたいと考えております。

#### ◎防災交通対策

防災対策は、いつ発生するか分からない災害から市民の生命や財産を守る重要な施策であります。既に、指定避難場所や災害危険個所などを記載した防災マップを市民の皆様へ配布するよう準備を進めております。災害の種類により対策は異なるため、あらゆる災害に対応できる体制づくりが急がれますが、19年度は自主防災組織の推進と防災訓練の実施に向けた取り組みを進め、消防関係車両等の整備を行ってまいります。また、防災行政無線のデジタル化にもなう整備の準備を進めてまいります。

交通安全対策といたしましては、市民生活の場における交通安全を確保するため、啓発指導、交通安全活動を推進し、市民の意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携しながら交通安全施設の整備・充実に努めてまいります。さらに、犯罪のない町づくり

#### ◎児童福祉対策といたしましては、放課後に子どもが安全で健全な活動場所の確保が必要なことから、放課後児童クラブで3カ所の新設、また、保育機能の充実を図るための障害児保育についても5カ所の保育所が新規受け入れを予定しております。さらに、次世代育成支援対策としての延長保育事業につきま

しては、全保育園に実施をお願いしてまいります。全国的に問題が深刻化しております児童虐待等につきましても、昨年度に引き続き家庭児童相談員と母子自立支援員を配置し、児童虐待防止や母子家庭等への支援充実に努めてまいります。



保健衛生対策といたしましては、母子保健事業として各種予防接種、乳児相談や健康診査などは継続して実施し、19年度は母親の育児不安の解消を図るた



を推進するために、防犯意識の高揚と地域ぐるみの防犯関連活動を強化してまいります。生活バス路線の維持につきましては、学生や子ども、高齢者など交通弱者の交通手段として引き続き確保が必要ことから、島鉄バス13路線の維持費補助を行ってまいります。

#### ◎環境・衛生対策

環境破壊の最大の要因は、ゴミ問題といっても過言ではないといえます。ゴミの減量化、リサイクルの推進は循環型社会の形成に大きく貢献します。19年度は行政改革大綱との整合を図りつつ「南島原市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、計画に沿った事業を推進してまいります。

また、一般家庭における生活排水は、浄化槽設置整備補助金交付事業を活用し、生活環境の向上を図ってまいります。

めの事業として「育児支援家庭訪問事業」に取り組み、歯科保健事業として就学前の乳幼児を対象にした「乳幼児フッ素塗布事業」や、40歳以上を対象に実施する「歯周病予防検診」にも本格的に取り組んでまいります。さらに、老人保健事業として生活習慣病を予防し重症化を防止するために、基本健診のほか各種ガン検診等や人間ドックは継続し、特に19年度は受診率の向上に努め、医療機関で健診を行う「個別健診」やガン検診を含めた各種健診を1日で済ませる「総合健診」につきましても実施を検討してまいります。

#### ◎地域振興まちづくり対策事業

地域振興に必要不可欠な組織に自治会があります。自治会は同じ地域に住む世帯によって構成され、人々の間に日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験があり、そこから連帯感や共同意識が生まれ、温かい心のふれあいの中でお互いに理解し合い、快適で安らぎと潤いのある地域社会を形成しています。しかしながら、近年、地域によつては自治会離れや少子高齢化が進み、地域コミュニティを維持していく上で様々な問題が生じております。

下水道事業につきましては、南有馬町で継続して施工しております大江処理区が、3月から一部供用開始となり、各家庭からの接続が可能となります。その区域は、約20ヘクタール、対象戸数は約300戸であり、これにより水環境の保全と快適で衛生的な生活環境の創出に寄与できるものと考えております。

これからは、市独自の水洗便所等改造資金の融資斡旋、浄化槽廃止補助金等の支援策もお知らせしながら、対象戸数の増加が図られるよう努めてまいります。また、15年に供用開始しました西有家町慈恩寺・見岳農業集落排水事業、16年度に一部供用開始しました口之津処理区につきましては、地区の接続率の鈍化が見られますので、今後、接続戸数の増加を図ってまいります。

